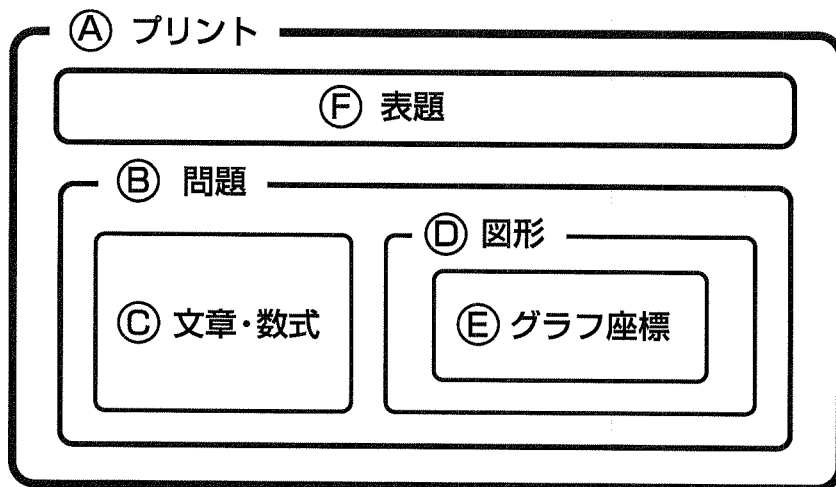


プリント作成のエコロジー計画

近年、深刻となっている環境問題に対して、世間では様々な取り組みがなされています。そこで、今回は Studyaid D.B. についても“作ったデータを無駄にしない！”をモットーに、みなさんの手間を少しでも減らすためのエコなアイデアをご紹介します。



Studyaid D.B. のデータはいろいろな単位で保存・登録ができ、読み出すことができます。



① 『プリント』の再利用

保存(登録)できる一番大きな単位はプリントです。保存したプリントは、次回そのまま使えるだけでなく、一部の問題について類問追加(差替)をしてプリントをリサイクルして使ったり、問題をコピーして、別のプリントに貼り付けて使うこともできます。

★保存する：ツールバーの [保存]

☆読み出す：ツールバーの [開く]

データベースに収録されている
プリントを利用する…… [実用Print]

「プリントの挿入」機能^{※1}を使えば、複数のプリントを合体して新しいプリントを作成することもできます。

※1 挿入先のプリントを開いた状態で、メニューバーの [挿入]
→ [Print用紙ファイルの挿入]

このように、プリント形式で保存しておけば、いろいろな形で再利用ができます。しかし、プリント全体を読み出すよりも、パーツごとに読み出せたほうが手間がかからない場合もあります。次のページでは、パーツごとにデータを保存(登録)して再利用する方法を見ていきます。


B 『問題』の再利用


自作問題を、ユーザー問題として1問単位で保存できます。

★保存する：問題を左クリックし、編集状態で右クリック

→ [ユーザー問題として保存]

☆読み出す：ツールバーの [U問選択]

 データベースに収録されている

 問題を利用する……「検索」

 Reuse

データベース問題として登録^{*2}しておけば、収録問題と同様に検索できるようになります。

※2 問題を左クリックし、編集状態で右クリック
→ [ユーザーデータベース問題として登録]


C 『文章・数式』の再利用


プリント上の文章・数式をユーザーパレットに登録することができます。よく使う公式などを登録しておけば、その都度入力する手間が省けます。

★登録する：文章・数式を反転選択し、右クリック

→ [ユーザーパレットに登録]

☆読み出す：ツールバーの [ユーザーパレット]

 データベースに収録されている

 公式を利用する……「公式パレット」

 Reduce

$\sin \theta = \sin(\theta + \theta) = \sin \theta \cos \theta + \cos \theta \sin \theta$ のように数字を入力する前の段階で登録しておけば、前回の数字を削除する手間が省けます。


D 『図形』の再利用


図形は単独でも複数でも、どちらでも部品として登録しておくことができます。図中数式や解答欄も登録が可能です。

★登録する：図形を選択し、右クリック

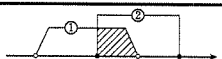
→ [部品登録]

☆読み出す：メニューバーの [挿入] → [部品]

 データベースに収録されている

 図形を利用する……「部品」

 Recycle

 のような作成に手間のかかる図形をパーツごとに登録しておくと、少し手を加えるだけで新たな図形が作成できます。

E 『グラフ座標』の再利用

関数グラフでは、座標パターンのみを登録することができます。描くグラフ式はいろいろあれど、座標のパターンは同じものを使うといった場合に有効です。関数グラフも図形の1つですので、座標とグラフ式を合わせて「部品登録」することもできます。

★登録する：グラフ座標を選択し、右クリック → [座標登録]

☆読み出す：[図・グラフを描く] → [グラフ] ボタン → 「座標の選択」画面の [ユーザー定義] タブ

F 『表題』の再利用

日々の確認テストや定期テストなど、決まった形の表題を多用する場合は、一度表題を登録しておけば、毎回表題を入力する手間が省けて便利です。

★登録する：表題を左クリックし、編集状態にして、ツールバーの [履歴登録]

☆読み出す：表題を左クリックし、編集状態にして、ツールバーの [履歴一覧]



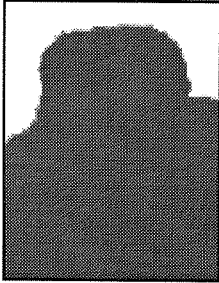
いかがでしたでしょうか。今回ご紹介したデータを再利用する方法が、少しでもプリント作成の手間削減にお役立ていただければ幸いです。

インタビュー形式でお伝えする

Studyaid D.B. 私の“イチ押し”

このコーナーでは、Studyaid D.B. にかかわりのある数研出版社員の生の声をお届けします。基本的な機能から実践的な活用法まで、役立つ情報を広く紹介していきますので、日々のプリント作成にぜひお役立てください。

第3回 営業部 Mさんに聞く！



営業部 Mさん

Q. MさんはどのようにStudyaid D.B.にかかわっているのですか？

A. 学校でStudyaid D.B.をご紹介したり、すでにご使用の先生方へのアフターフォローを行ったりしています。

Q. では、Mさんの“イチ押し”を教えてください。

A. 先生方にご好評いただいているのは「**実用Print例集**」ですね。各データベースごとに収録されている既製のプリント集です。

Q. 「実用Print例集」を学校の先生方はどのようにお使いになられているのでしょうか？

A. もちろん、そのままレディメイドのプリントとしてご使用いただいている場合も多いですが、「**類問検索**」で同一テーマの問題を検索し、問題を差し替えたり、追加したりして、オリジナルプリントへの作り替えをされている場合も多いですね。この手軽さが好評です。

この「**類問検索**」の機能も、以前に比べるとかなり活用の幅が広がりました。学校の先生方のご意見を反映しながらStudyaid D.B.も日々進化しています。先生方から頂戴したご意見を制作サイドにお伝えするのも私たちの大切な仕事です。

Q. 最後に、MさんにとってStudyaid D.B.とは何ですか？

A. たかがソフト、されどソフト。あくまで先生方の教材作りをサポートするための商品ではありますが、Studyaid D.B.は今や弊社の看板商品の1つとなっています。